

1年生 <図画工作科>

現在の分析

<知識及び技能>

- ・絵を描く、折る、切る、貼る技能の面で、個人差や経験差が非常に大きい。

<思考力、判断力、表現力等>

- ・好きな色、好きな構図、好きな材料を使って造形活動を楽しんでいる。その一方、なかなか構想が浮かばず、友達の作品を見たり教師の助言を聞いたりしながら進める児童もいる。
- ・「すごいね」と、素直に感想を口にすることができ、友達と作品を見せ合うことを楽しむ児童が多い。まだ具体的な感想を发表或し、描いたりできる児童は少ない。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・描くこと、作ることが好きな児童が多く、意欲的に絵や工作に取り組むことができる。

重点課題

知識及び技能)

- ・自由な発想をもとに考えることができるようにする。
- ・手先の感覚を育て、身近な道具を使いこなせるようにする。

<思考力、判断力、表現力等>

- ・発想や構想を広げたり、独創的な個性を伸ばす作品づくり。
- ・友達や自分の作品の具体的なよさに気付くとともに、作品の新しいイメージを広げる。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・描くこと、作ること、見ることへの関心を高める。

授業改善策

<知識及び技能>

- ・身近にある材料を使わせ、それらに働きかけること、かかわることの楽しさを味わわせる。
- ・材料を手にししながら、形や色、手触り、重さなどを体感させることで、使い方や工夫の仕方を考えさせる。
- ・創作活動に取り組んでいる様子そのものを認め、思いのままに造形遊びをさせる。
- ・水彩絵の具、クレパス、色鉛筆、はさみ、のり、おりがみなど、道具の使い方を指導し、慣れさせる。
- ・のりや化学接着剤、セロハンテープなど材料や活動に適した接着方法を助言する。

<思考力、判断力、表現力等>

- ・具体的なイメージをもって活動に入れるよう、導入では材料の形や色などの美しさ、面白さ、不思議さなどに目を向けさせるようにする。
- ・扱いやすい材料を用意し、それらを並べる、つなぐ、積むなどの工夫を考えさせる。
- ・個々の児童の発想や工夫、構想のよさを電子黒板等で他の児童にも紹介し、共有できるようにする。
- ・廊下前の掲示板や、教室の後ろなど作品を展示する。定期的に作品を入れ替えることで、鑑賞への関心を高める。
- ・自分の作品で表したかったこと、伝えたいことを発表する場を設け、感想を交流する。
- ・友達の作品を見て、一人一人の表現や思いに共感し、気づいたことや感じたことを聞き合える場を設定し、そのよさを認め合えるようにする。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・机の配置の仕方など、学習形態を工夫する。友達と関わり合う場を設け、思いついたことを共有したり、共に行動したりする中で、表したいことを見つけられるようにしていく。
- ・一人一人が意欲的に活動できるよう、興味をもちやすく扱いやすく準備し易い材料を提示したり、場の設定をしたりする。
- ・自分が思いついた表し方を試したり、自分なりのこだわりをもってじっくり取り組んだりできる時間を十分にとる。作品作りを楽しめる児童を育てる。
- ・仕上げた作品に対して、一人一人の表現や思いに共感し、工夫した点を評価する。

2年生 < 図画工作科 >

現在の分析

< 知識及び技能 >

- ・技能の面では、個人差や経験差がある。

< 思考力、判断力、表現力等 >

- ・好きな色、好きな材料を使って、思いのままに発想し、造形活動を楽しんでいる。
- ・発想や構想がなかなか浮かばず、友達の作品を参考にして取り組む児童もいる。

< 学びに向かう力、人間性等 >

- ・かいたりつくったりすることが好きな児童が多く、絵や工作に意欲的に取り組む。
- ・自分なりの表現をしたり、もっと工夫しようとして取り組んだりする児童が多い。
- ・友達の作品を鑑賞して、互いに認め合う姿が見られる。

重点課題

< 知識及び技能 >

- ・手や体全体を十分に働かせて活動するという機会の設定。
- ・様々な用具の使い方の習熟。

< 思考力、判断力、表現力等 >

- ・各自の個性に応じて発想や構想が広がるような働きかけ。
- ・想像していることを具体的な表現につなげていくこと。
- ・友達の作品を見てよいところを自分の作品に具体的にどう取り入れるかを考えさせること。

< 学びに向かう力、人間性等 >

- ・最後まで楽しんでかいたりつくったりすること。
- ・感じたことや想像したことから、自分で表したいことを見つけてより積極的に表すこと。

授業改善策

< 知識及び技能 >

- ・身近にある材料に働きかけ、体全体を使ってかかわること自体の楽しさを味わわせる。
- ・材料を手にしなから、形や色、手触り、重さなどを体感させ、活動そのものを認め、思いのままに造形遊びをさせる。
- ・クレパス、はさみ、のりなどの用具について、材料や活動に応じた安全で適切な使い方を指導する。

< 思考力、判断力、表現力等 >

- ・材料の形や色などの美しさ、面白さ、不思議さに目を向けさせ、「これを使ってかいてみたい」「たくさん集めてつくりたい」などと思いをふくらませるようにする。
- ・扱いやすい材料を使い、それらを並べる、つなぐ、積むなどの工夫する時間を十分に確保する。
- ・個々の児童の発想を肯定的に受け止め、いろいろな発想や構想の仕方を他の児童にも紹介する。
- ・活動途中にも友達と作品を見合い、「ここが面白い」「ここは、どうやってつくったの」などと、感じたことを楽しみながら交流する時間を十分に設定する。

< 学びに向かう力、人間性等 >

- ・友達とのかかわりを大切にし、思い付いたことを共有したり、友達の考えのよいところを見付けたりする中で、表したいことや伝えたいことを個々に感じさせるようにする。
- ・一人一人が意欲的に活動できるようにするために、魅力的な材料との出会いを重視し、材料や人とのかかわり方への支援を工夫する。
- ・学校行事や普段の様子など、日々の生活の中から表したいことを考えるように支援し、持続的に意欲を高めるようにする。
- ・出来上がった作品に対して、児童相互で共感し、工夫した点を評価し合う。

3年生 < 図画工作科 >

現在の分析

< 知識及び技能 >

- ・自分の表したい感じに合わせて、絵の具を混色することができている。
- ・はさみやカッター、糊等の用具を正しく使えていない児童もいる。

< 思考力、判断力、表現力等 >

- ・自分の思いを大切にしながら、作品づくりに取り組む姿が見られた。
- ・発想の豊かな児童が多いが、自分の思いがまとまらない児童や、既成のイメージにとらわれて発想をふくらませられない児童がいた。
- ・自分の発想を大切にしておいたり、友達のよい表現を取り入れたりして、工夫して作品づくりができる。

< 学びに向かう力、人間性等 >

- ・友達の作品を見合い、友達のよいところを自分の作品に生かそうとしている。
- ・自分で集めた材料を生かそうとしたり、自分の思いを形にしようとしたりと、身近な材料を使った造形活動に対して関心が高い。よいと思った表現は、自分の作品に取り込もうとしている。
- ・自分なりのこだわりや、もっとよくしようとする意欲がもてず、集中して活動に取り組めない児童もいる。

重点課題

< 知識及び技能 >

- ・安全面に留意して、はさみやカッター、糊等の用具の正しい技能を身に付ける。

< 思考力、判断力、表現力等 >

- ・新たな発想を広げたり、発想を深めたりする。

< 学びに向かう力、人間性等 >

- ・出来上がった作品だけでなく、作品をつくる段階(材料の使い方の工夫・形や色など)を楽しもうとする。
- ・自分がイメージしたことに対して最後まで粘り強くこだわって創作活動する。

授業改善策

< 知識及び技能 >

- ・用具の使い方を確かめたり、正しく使うことができるよう声掛けしたりする。

< 思考力・判断力・表現力等 >

- ・自分の手がけたものから、新たな発想を広げ、別の材料を加えたり、飾ったり、合わせ方を工夫したりしながら取り組めるよう声掛けをする。
- ・豊かな発想や一人一人の発想が深められるような雰囲気づくりをする。
- ・作品づくりに必要な材料、用具などを十分に準備する。
- ・児童が表したいことに合わせて、扱いやすい材料や用具を十分な量を準備する。

< 学びに向かう力・人間性等 >

- ・これからも児童が関心や意欲を高められるような参考作品を用意する。
- ・友達と作品を見合い、見つけたよさや感じたことをメモなどで伝えて、意欲付けにつなげたり、つくり出す喜びを味わったりすることができるようにする。感じたことや思ったことを伝え合う機会を増やす。

4年生 < 図画工作科 >

現在の分析

< 知識及び技能 >

- ・前学年までの材料や用具についての経験を生かそうとする様子が多く見受けられる。手や体などを十分に働かせ、工夫してついたり、表したりしている。

< 思考力、判断力、表現力等 >

- ・身近な材料や場所などの色や形から発想したり、つくりながらイメージを広げたりする児童の姿が見受けられる。
- ・活動中に友達の表現のよさや面白さに気付く児童や、表し方によって様々な違いがあることに気付く児童もいる。

< 学びに向かう力、人間性等 >

- ・全体として意欲的であり、様々な表現方法に関心をもって、楽しんで取り組む児童が多い。

重点課題

< 知識及び技能 >

- ・材料や用具の扱いの習得に差をなくし、既習の基礎的な技能を定着させる。

< 思考力、判断力、表現力等 >

- ・感じたこと、想像したこと、見たことなどの中から、表したいことを見付ける。
- ・新しい表現方法や材料にも意欲的に取り組んだり働きかけたりして、活動を深める。

< 学びに向かう力、人間性等 >

- ・自分や友達の作品のよさや面白さ、工夫したこと等を感じ取り、自分の表現に取り入れる。

授業改善策

< 知識及び技能 >

- ・手や身体を十分に働かせて活動できるような題材を、引き続き取り入れる。
- ・新しい表現方法や道具を扱うときは、正しい使い方を知り、試したり練習したりする時間を十分に設定する。
- ・前学年までに学習した技能を扱う場面を、繰り返し設けるようにする。

< 思考力、判断力、表現力等 >

- ・材料に触れたり、働きかけたりする時間を十分に設け、材料から発想を広げ、自分なりのイメージがもてるようにする。
- ・色や形、質感などの組み合わせの美しさや面白さやよさに気付かせてイメージを広げていくようにする。
- ・木材や様々な手触りの材料と出合わせ、その特徴をとらえて発想のきっかけにさせる。
- ・大型テレビ等のICTを活用し、コロナ禍においても活動中や活動後に適宜互いの表現を見合う時間を設定し、表し方のよさや面白さ、工夫したこと等を感じ取り表現活動に生かせるようにする。
- ・様々な表現方法や材料に触れ、表し方や材料の違いを感じ取れる機会を設ける。

< 学びに向かう力、人間性等 >

- ・題材や材料との出会いを工夫する。
- ・ためしたり、やり直したりできる場の設定や表現方法を工夫する。
- ・スモールステップで発展できる制作過程を考たり、活動のきっかけになるような声掛け等の支援をする。

5年生 < 図画工作科 >

現在の分析

< 知識及び技能 >

- ・前学年までの材料や用具についての経験を生かそうとする様子が多く見受けられる。手や体などを十分に働かせ、工夫してついたり、表したりしている。

< 思考力、判断力、表現力等 >

- ・材料や場所などの色や形、特徴から発想したり、構成の美しさの感じや用途を考えながら主題の表し方について考えたりする児童の姿が見受けられる。
- ・活動中に友達の表現のよさや面白さに気付く児童や、表し方によって様々な違いがあることに気付く児童もいる。

< 学びに向かう力、人間性等 >

- ・全体として意欲的であり、様々な表現方法に関心をもって、楽しんで取り組む児童が多い。

重点課題

< 知識及び技能 >

- ・材料や用具の扱いの習得に差をなくし、既習の基礎的な技能を定着させる。

< 思考力、判断力、表現力等 >

- ・発想したことをより深めて考えることが苦手な児童もいる。
- ・自分や友達の作品のよさや面白さ、工夫したこと等を感じ取り、自分の表現に取り入れる。

< 学びに向かう力、人間性等 >

- ・新しい表現方法や材料にも意欲的に取り組み、活動を深める。

授業改善策

< 知識及び技能 >

- ・手や身体を十分に働かせて活動できるような題材を引き続き取り入れる。
- ・新しい表現方法や道具を扱うときは、正しい使い方を知り、試したり練習したりする時間を十分に設定する。
- ・前学年までに学習した技能を扱う場面を繰り返し設けるようにする。

< 思考力、判断力、表現力等 >

- ・材料に触れたり、働きかけたりする時間を十分に設け、材料から発想を広げ、自分なりのイメージがもてるようにする。
- ・色や形、質感などの組み合わせの美しさや面白さやよさに気付かせてイメージを広げていくようにする。
- ・木材や液体粘土など新しい材料と出合わせ、その特徴をとらえて発想のきっかけにさせる。
- ・大型テレビ等のICTを活用し、コロナ禍においても活動中や活動後に適宜互いの表現を見合う時間を設定し、表し方のよさや面白さ、工夫したこと等を感じ取り表現活動に生かせるようにする。
- ・様々な表現方法や材料に触れ、表し方や材料の違いを感じ取れる機会を設ける。

< 学びに向かう力、人間性等 >

- ・題材や材料との出会いを工夫する。
- ・ためしたり、やり直したりできる場の設定や表現方法を工夫する。
- ・スモールステップで発展できる制作過程を考たり、活動のきっかけになるような声掛け等の支援をする。

6年生 < 図画工作科 >

現在の分析

< 知識及び技能 >

- ・前学年までの材料や用具についての経験を生かそうとする様子が多く見受けられる。手や体などを十分に働かせ、工夫してついたり、表したりしている。

< 思考力、判断力、表現力等 >

- ・身近な材料や場所などの色や形から発想したり、つくりながらイメージを広げたりする児童の姿が見受けられる。
- ・活動中に友達の表現のよさや面白さに気付く児童や、表し方によって様々な違いがあることに気付く児童もいる。

< 学びに向かう力、人間性等 >

- ・全体として意欲的であり、様々な表現方法に関心をもって、楽しんで取り組む児童が多い。

重点課題

< 知識及び技能 >

- ・材料や用具の扱いの習得に差をなくし、既習の基礎的な技能を定着させる。

< 思考力・判断力・表現力等 >

- ・感じたこと、想像したこと、見たことなどの中から、表したいことを見付ける。
- ・自分や友達の作品のよさや面白さ、工夫したこと等を感じ取り、自分の表現に取り入れる。

< 学びに向かう力・人間性等 >

- ・新しい表現方法や材料にも意欲的に取り組み、活動を深める。

授業改善策

< 知識及び技能 >

- ・手や身体を十分に働かせて活動できるような題材を引き続き取り入れる。
- ・新しい表現方法や道具を扱うときは、正しい使い方を知り、試したり練習したりする時間を十分に設定する。
- ・前学年までに学習した技能を扱う場面を繰り返し設けるようにする。

< 思考力・判断力・表現力等 >

- ・材料に触れたり、働きかけたりする時間を十分に設け、材料から発想を広げ、自分なりのイメージが持てるようにする。
- ・色や形、質感などの組み合わせの美しさや面白さやよさに気付かせてイメージを広げていくようにする。
- ・木材や液体粘土など新しい材料と出合わせ、その特徴をとらえて発想のきっかけにさせる。
- ・大型テレビ等のICTを活用し、コロナ禍においても活動中や活動後に適宜互いの表現を見合う時間を設定し、表し方のよさや面白さ、工夫したこと等を感じ取り表現活動に生かせるようにする。
- ・様々な表現方法や材料に触れ、表し方や材料の違いを感じ取れる機会を設ける。

< 学びに向かう力・人間性等 >

- ・題材や材料との出会いを工夫する。
- ・ためしたり、やり直したりできる場の設定や表現方法を工夫する。
- ・スモールステップで発展できる制作過程を考たり、活動のきっかけになるような声掛け等の支援をする。